



声をそろえて謡い上げる園児

福山市鞆町の鞆幼稚園で三日、園児が「ひなまつり会」で能の連吟を披露した。町にひな人形を飾る「鞆・町並ひな祭」の関連行事として初めて企画。保護者らとともに観光客も見学に訪れた。

喜多流大島能楽堂の大島紀恵さん(25)らが指導した。年長組の九人が着物とはかま姿で登場。桃の節句にちなみ、

着物とはかま姿

園児が連吟披露

鞆でひな祭り

中国の女神が人間に不老不死の桃をささげる「西王母」の物語を、背筋を伸ばし大声で謡い上げた。大島さんの呼び掛けで、観客も「羽衣」を謡った。

孫が出演した近くの主婦高橋八千代さん(62)は「はっきりとした口調で上手なのに驚いた。子どものころから日本文化を学ぶのはいいこと」と話していた。(赤江裕紀)